



さんぼし

唐津市立西唐津小学校
学校だより 第 76 号
令和8年 9月10日(木)
文責 校長 古川 雅



学校 HP

水曜日の子どもたちの様子から

子どもたちの登校してくる時間前後から、急に風が強まって、傘も差せないくらいの突風が吹く瞬間もありました。傘を持っていたても、傘が壊れるからと傘を差さずに登校してくる子もいました。「風が強くて、傘がラッパ傘になった」「風が強いので、怖くて差せなかった」など、報告をしてくれました。雨が降ったり、やんだりで、そこまでひどくなかったのだけが、救いでした。

そんな中でも子どもたちは元気です。朝の時間、外に遊びに行こうとボールの空気入れに事務室にやってきましたが、その瞬間に雨が降ってきました。外では遊べないことを知ると、1人の子どもが、「外に出ようとすると、いつも雨が降ってくる!!」と、恨めしそうに教室に戻ってしまいました。



6時間目は3～6年生の各クラスの代表が参加する、代表委員会が行われました。議題は『「ハッピープレイデー」でどんなことをするのか決めよう』でした。1～6年まで一緒に遊べるような、遊びの内容を話し合いました。

自分たちが楽しむのではなく、ほかの学年（とくに1年生）のことを考えて意見がたくさん出されたところが、ステキでした。

なお、代表委員会の話し合いの様子は、電子黒板で各教室に生中継されていました。イマドキですね。



4年1組は、代表委員会で提案する意見をまとめる学級会を行っていました。

司会の2名が前に出て、「ハッピープレイデー」で何をして遊びたいかを話し合っていました。ここでも、1年生のことを考えた意見が出されていました。



2年生は国語の学習、「みんなで話し合おう」の授業でした。

まずは、話し合うための共通の話題づくりとして、図書室の本を選んで読みながら、「もしも自分が本（物語）の中に入ったら、どんなことがやりたいのか」を考えていました。みんな、読んでいる表情が真剣です。

